



千代川森林計画区の概要と 次期計画の検討方向

鳥取自然休養林
大坂宮林局

旧城山国有林（鳥取市）

林野庁 近畿中国森林管理局
鳥取森林管理署

次期計画の検討方向

次期計画の検討方向

- 1 公益的機能の維持増進
- 2 林産物の持続的かつ計画的な供給
- 3 地域産業の振興及び住民福祉の向上への寄与

国有林の三つの基本方針に基づく、各事業・取組について、現行計画と同水準以上で計画していく考え。

次期計画の検討方向

さらに、次期計画において、公益的機能の維持増進に関して、次の3つの取組について重点的に計画

1 育成複層林施業の推進

- 水源涵養^{かん}タイプの人工林について「複層林施業群」の比率を高める（人工林の複層林）
- 人工林施業に適さない森林については、針広混交林や天然生林に誘導していく（天然林施業群）

2 自然度の高い森林の保全

- 保護林周辺の自然度の高い森林に係る見直し

3 林地保全に配慮した森林施業の推進

- 山地災害リスクの高い森林の機能類型を、「山地災害防止タイプ」に変更

1 育成複層林施業の推進

森林・林業基本計画に掲げる森林の誘導目標に向け、近畿中国森林管理局においても、自然・社会的条件等を踏まえ、育成複層林への誘導を推進

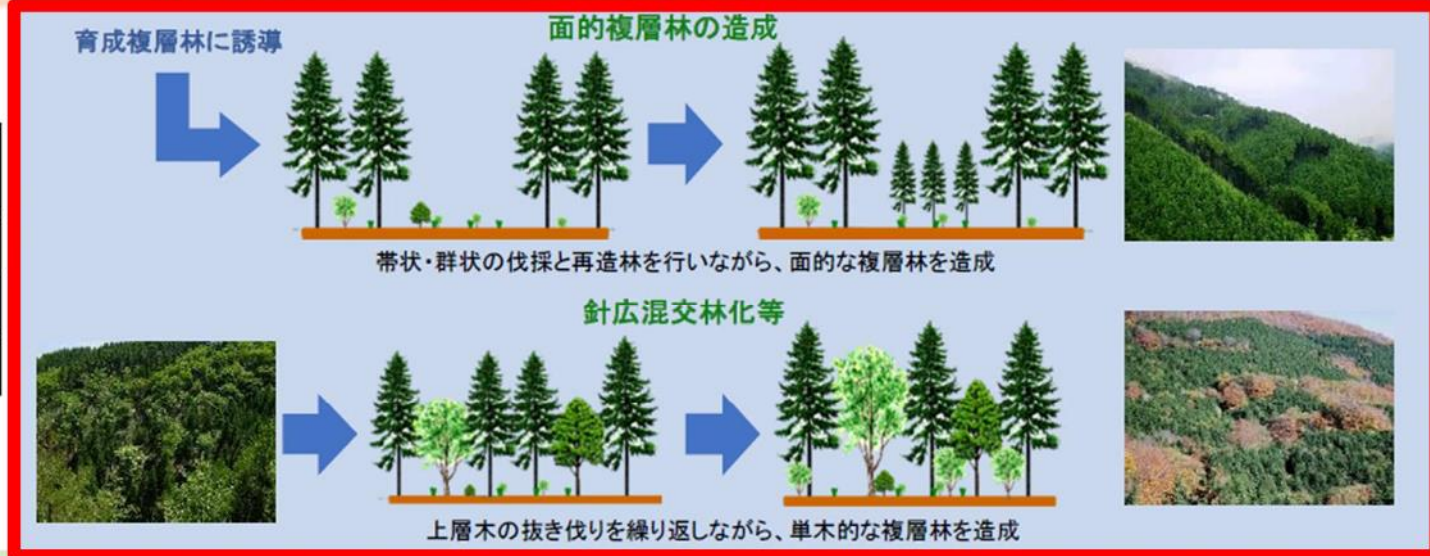


基本計画に掲げる森林の誘導目標

単位：万ha

	令和2年 (現況)	令和7年 (目標)	令和12年 (目標)
育成単層林	1,010	1,000	990
育成複層林	110	130	150
天然生林	1,380	1,370	1,360

育成複層林への誘導目標
5年間で20万ha(4万ha/年)



天然生林から
育成複層林に誘導

ナラ枯れ予防や放置され
た里山林の整備等

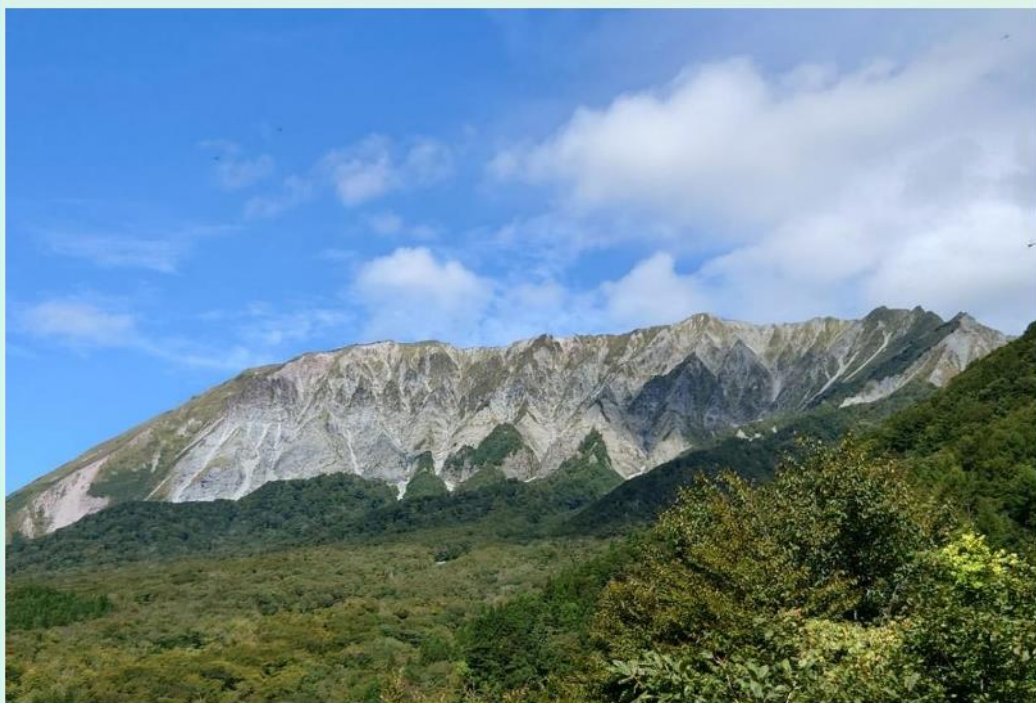


択伐を繰り返しながら、天然力を活用し、育成天然林を造成・維持

2 自然度の高い森林の保全

保護林周辺や奥山などに分布している自然度が比較的に高い森林については、今年度実施中の保護林モニタリング調査の結果等を踏まえ、適切な保全管理の対象と位置付けて自然維持タイプへの変更等を検討

大山森林生態系保護地域



夜叉ヶ池
ヤシャゲンゴロウ希少個体群保護林



ヤシャゲンゴロウ

3 林地保全に配慮した森林施業の推進

森林は国土のおよそ7割を占め、地形は急峻で複雑かつ脆弱。また、近年全国各地で山地災害が激甚化しており、山腹崩壊、林道の損壊等広域にわたる大規模な山地災害が多発



国有林野では、従来から皆伐の伐採面積をおおむね5ha以下にするなど、公益的機能重視の管理経営を行ってきたが、今後、山地災害によるリスクを軽減するため、これまで以上にきめ細やかに林地保全に配慮した施業に取り組む。

・山地災害危険地区等との位置関係を確認し、機能類型の見直しを図る（山地災害防止タイプへの変更）。

・山地災害防止タイプのうち、急傾斜等に該当する小班をエリア指定し、林産物の搬出を原則として架線集材とする



山地災害危険地区の3区分

次期計画の検討方向

花粉発生源対策の加速化

府県が設定した「スギ人工林伐採重点区域」を含む市町村内の国有林を「重点区域に準じた国有林」に位置付けし、伐採・植え替えを効果的・集中的に実施。

（参考）林野庁の花粉発生源対策

花粉発生源となるスギの人工林について、「伐って、使って、植えて、育てる」といった森林資源の循環利用を推進し、花粉の少ない多様で健全な森林へ転換していきます。

伐って利用します

花粉を飛散させるスギ人工林等を伐採・利用します。

住宅に加えて、公共施設や商業施設の木造化等にスギ材を利用することにより、花粉を飛散させるスギ人工林の伐採を進めます。



伐採された木材の利用拡大



花粉発生源である立木の伐倒・搬出

植え替えます

花粉の少ない苗木等による植替や広葉樹の導入を進めます。

花粉の少ない苗木の生産増大に取り組み、スギの伐採跡地への植栽を促進します。また、条件不利地においては、伐採後の広葉樹の導入等を進めます。

花粉の少ない苗木等の生産体制を増強



出させません

スギ花粉の発生を抑える技術の実用化を図ります。

スギ花粉の飛散防止剤の開発・普及等、スギ花粉の発生を抑え飛散させない技術の実用化を図ります。



花粉飛散防止剤により枯死した雄花



目 標

- ・ 10年後にはスギ人工林※を2割減少
- ・ 将来的（約30年後）には花粉発生量の半減を目標

※花粉の少ない苗木はスギ人工林に該当しない。

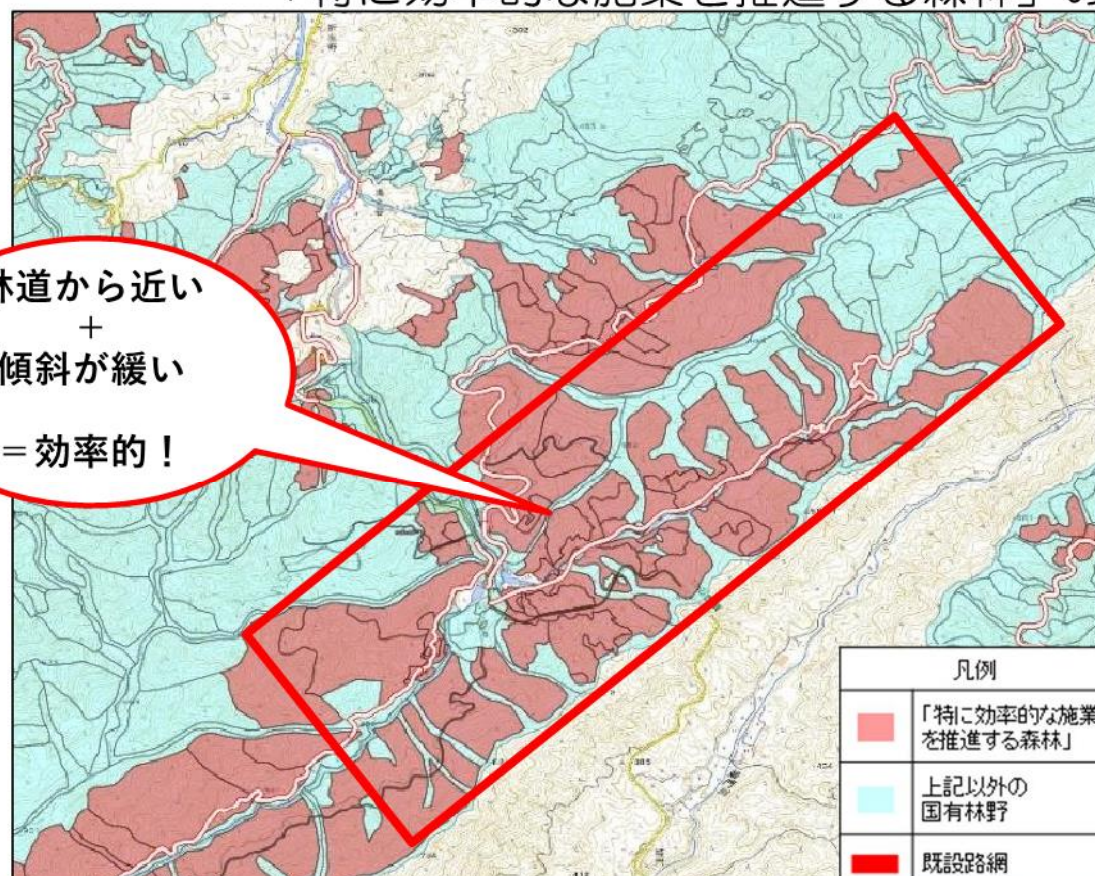
注）大都市近郊における伐採を率先

次期計画の検討方向

「特に効率的な施業を推進する森林」

水源涵養タイプに区分された人工林のうち、地位が比較的高く、急傾斜地以外の自然条件や林道等からの距離が近いなど社会的条件から持続的な林業生産活動に適したものを「特に効率的な施業を推進する森林」に設定

「特に効率的な施業を推進する森林」の設定と取組内容



「新しい林業」の実現に向けた効率的な施業の実施と民有林への普及



事業発注を通じた林業事業体の育成



木材の安定供給に資する林道の機能強化



このほか、分収造林新規契約やレーザ計測・解析等を優先的に実施

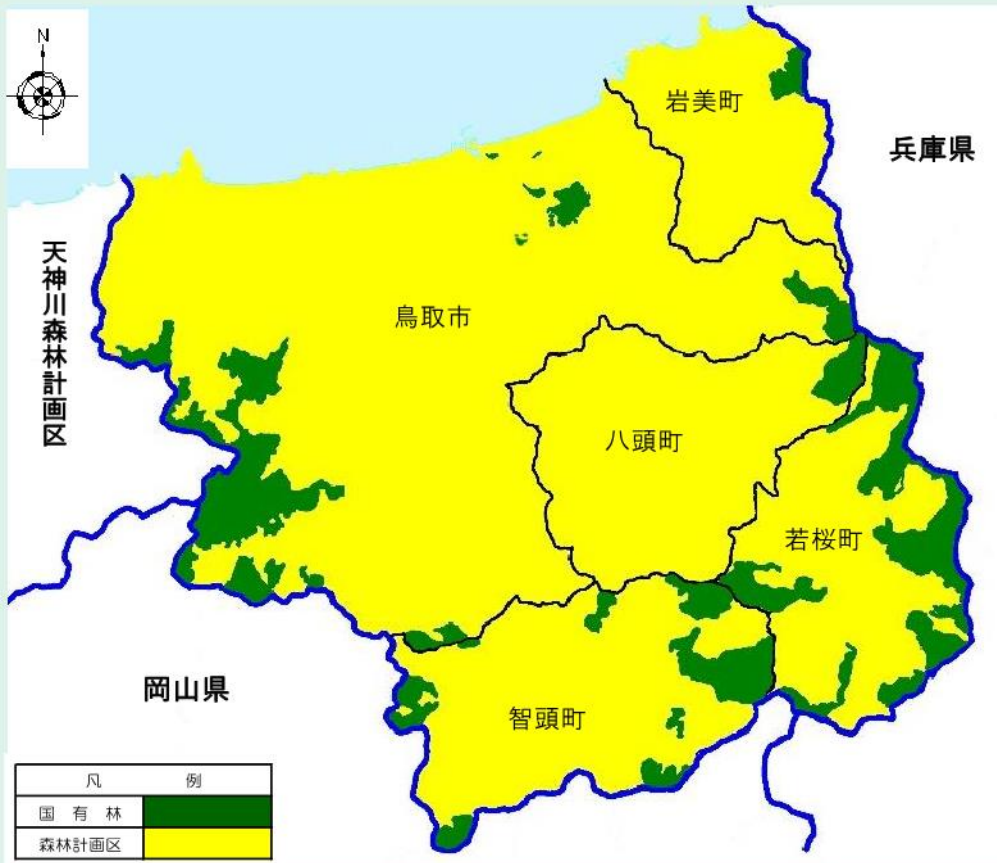


これらの取組を通じて、地域の国産材の安定供給体制の構築や将来的な森林吸収量の確保・強化にも貢献

千代川森林計画区における 国有林の特徴的な取組

千代川森林計画区の概況

【千代川森林計画区位置図】



○千代川森林計画区は、鳥取県東部に位置し、国有林の多くは県境付近の高標高地に所在。

○森林の総面積121千haのうち国有林野は15千ha（13%）。

○主要河川の源流にあり、原始的な森林も多く、生物多様性保全や山地災害防止などの公益的機能の発揮に重要な役割。

また、鳥取市街地に所在する国有林は、保健・文化・教育的な利用の場として広く利用。

（該当市）

鳥取市、岩美町、若桜町、智頭町、八頭町

森林資源の状況

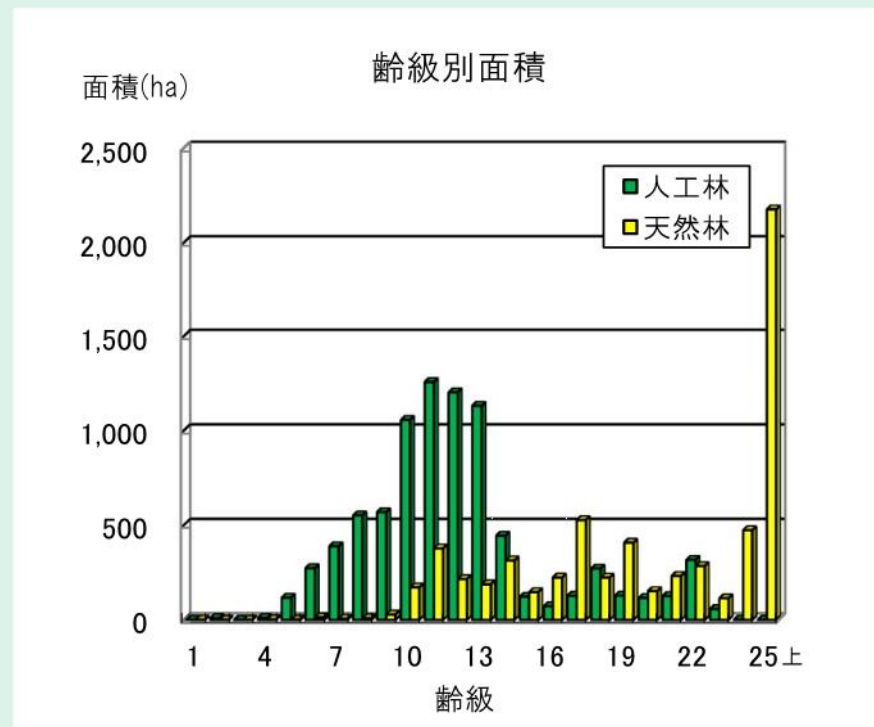
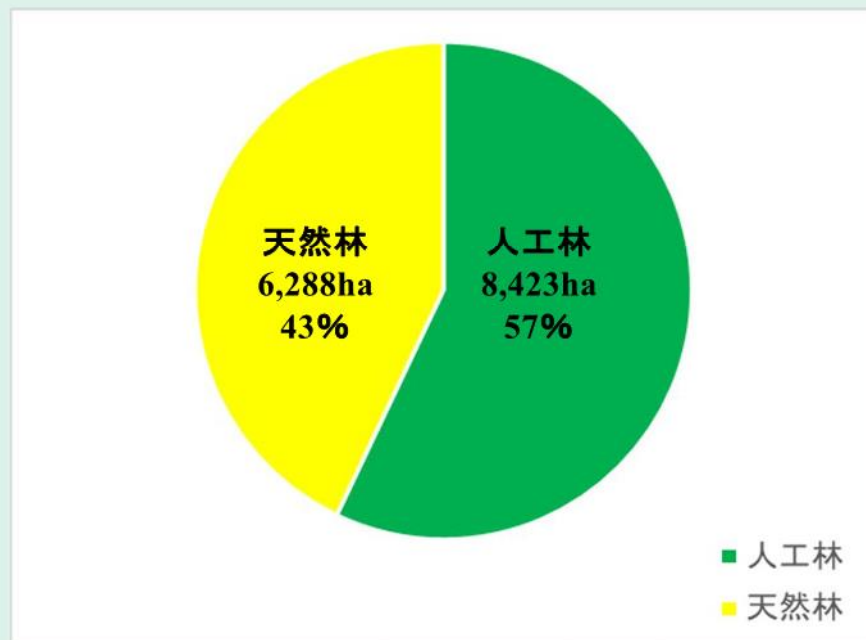
○面積割合は人工林が57%、天然林が43%

○人工林の蓄積割合は、スギ70%、ヒノキが15%

○人工林の齢級は10齢級から13齢級が中心

※齢級とは、森林の年齢(林齢)を5年でひとくくりにし、林齢1～5年生を1齢級、6～10年生を2齢級、以下3齢級・・・と称する。

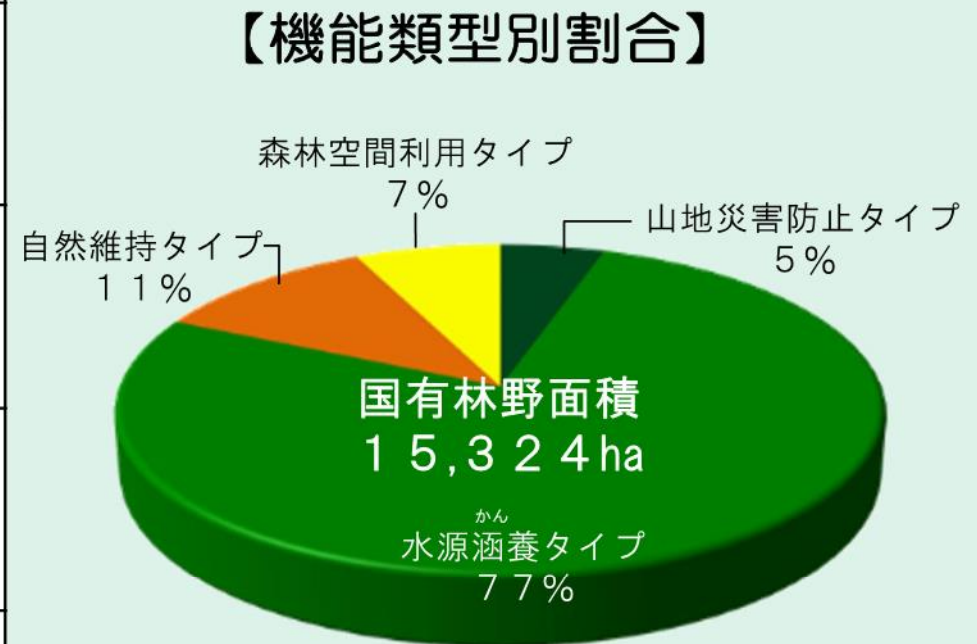
【人工林・天然林の面積割合】



機能類型に応じた管理経営

○重点的に発揮すべき機能によって、森林を5つの機能類型（タイプ）に区分し、適切な管理経営を行っています。

機能類型	面積 (ha)	対象とする森林
山地災害防止 タイプ	813	土砂崩れや土砂の流出等による山地災害や飛砂、潮害等の気象災害を防ぐことを目的に整備する森林
自然維持 タイプ	1,734	原生的な森林生態系や貴重な動植物が生息・生育するなど特別な保全・管理が必要な森林
森林空間利用 タイプ	1,050	国民の皆さんが森林とふれあう場として、また、森林ボランティア団体等の活動の場としての森林
快適環境形成 タイプ	—	騒音の防備や大気の浄化等生活環境の形成を目的に整備する森林
水源涵養 ^{かん} タイプ	11,727	洪水の緩和、水質保全等を目的に整備する森林



注：四捨五入により、内訳と合計が一致しない。

主要事業

(現行計画量：R4～R8年度)

・伐採量

	現行計画量	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	203	48,166
間伐	2,032	220,006

・更新量

現行計画量 (ha)	
人工造林	天然更新
177	-

・保育量

現行計画量 (ha)		
下刈	除伐	枝打
439	5	-

(事業実績：R4～R6年度)

	事業実績	
	面積(ha)	材積(m ³)
主伐	8	4,657
間伐	276	37,733

事業実績 (ha)	
人工造林	天然更新
25	-

事業実績 (ha)		
下刈	除伐	枝打
13	1	-

主要事業

（現行計画量：R4～R8年度）

（事業実績：R4～R6年度）

・ 林道

現行計画量		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	2,720	8

事業実績		
	開設（m）	改良（箇所）
数量	840	7

・ 治山

現行計画量	
保全施設（箇所）	8
保安林整備（ha）	-

事業実績	
保全施設（箇所）	1
保安林整備（ha）	0

公益的機能の維持増進

国土の保全

○治山事業

治山ダム等の設置や保安林の適切な管理を通じて山地に起因する災害から国民の生命、財産を守ります。また、水源涵養機能や、生活環境の維持向上を図ります。

斜面崩壊対策待ち受け工



旧城山国有林（鳥取市）

山腹工



鷲峰山国有林（鳥取市）

野生生物による森林被害への対応

○協定締結による捕獲支援

近畿中国森林管理局では、シカによる農林業被害や森林生態系への被害軽減を目的としたシカ捕獲に関する協定締結を推進。

地元の市や町、鳥獣害対策協議会や猟友会等と捕獲協定を結び、国有林内での捕獲場所の提供や罠の無償貸し出し、小林式誘引捕獲方法等の技術支援を実施。



小林式誘引捕獲法

原生的な天然林等の保護

○保護林

4箇所を設定しており、モニタリング調査を定期的を実施。

種類	名称	特徴等	面積(ha)
生物群集保護林	三国山生物群集保護林（保存地区）	三国山における代表的なブナを主体とする高齢天然成林の保護	20.20
希少個体群保護林	沖ノ山スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源の保存	88.16
	山王谷スギ・ブナ・トチノキ等遺伝資源希少個体群保護林	スギ、ブナ等の天然分布を保護し、林分の遺伝資源の保存	114.72
	扇ノ仙ブナ希少個体群保護林	中国山系における代表的なブナ天然林の保護	54.91



原生的な天然林等の保護

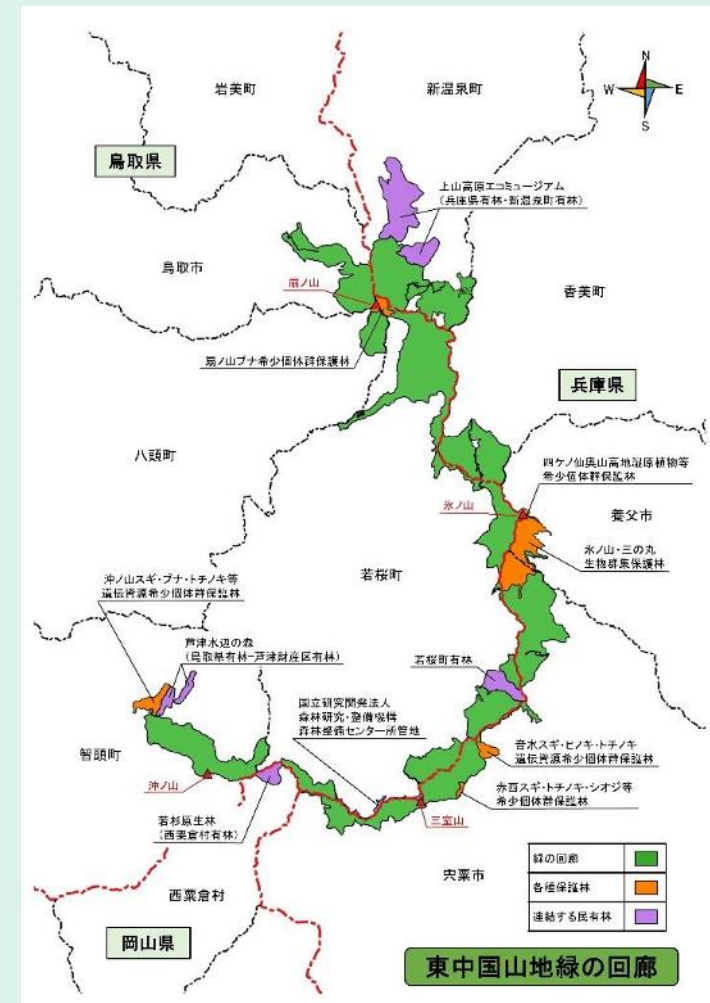
○緑の回廊

保護林を中心とした、野生動植物の生息・生育地の広域的なつながりを確保することにより森林生態系をより効果的に保全。



扇ノ仙国有林(八頭町)

名 称	延 長	面 積	備 考
東中国山地緑の回廊	34km	3,745ha	緑の回廊全体 42km 約7,632ha



林産物の持続的かつ計画的な供給

林産物(木材)の供給

～ 地形を考慮した間伐、小径木の利用拡大 ～

- 本計画区で生産される木材全てが間伐材
- 路網、高性能林業機械、列状間伐を組み合わせた低コストで効率的な間伐を推進
- 小径木や未利用材（D材）は、木質バイオマスへの利用を拡大

低コストで崩れにくい路網整備



高性能林業機械の活用



列状間伐の導入



林産物(木材)の供給 ～ 間伐材の有効利用 ～



フォワーダによる木材運搬

沖ノ山国有林（智頭町）



プロセッサによる採材

沖ノ山国有林（智頭町）



グラップルによる木材集積

鍋割国有林（鳥取市）

低コスト化に向けた取り組み ～ 生産と造林の一貫作業システム ～

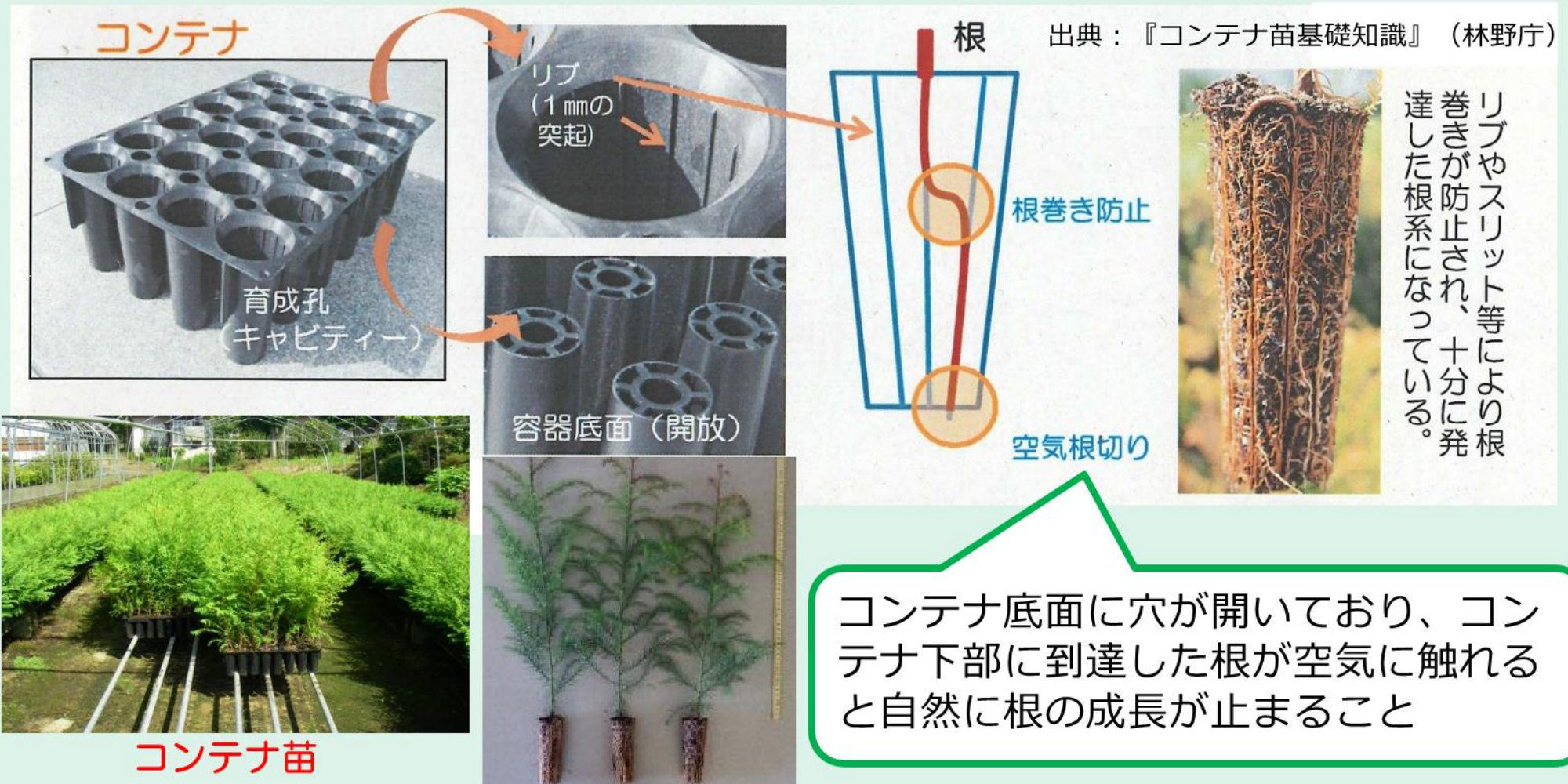
- ・ 植付けの時期を選ばないコンテナ苗を用いることで伐採後直ちに植付が可能（花粉の少ない苗木等の導入）
- ・ 木材の運搬機械を苗木や防護柵等の造林資材運搬にも活用することで、造林コストを低減



※一貫作業システム：伐採と植栽を一体的に行う作業

低コスト化に向けた取り組み ～ コンテナ苗 ～

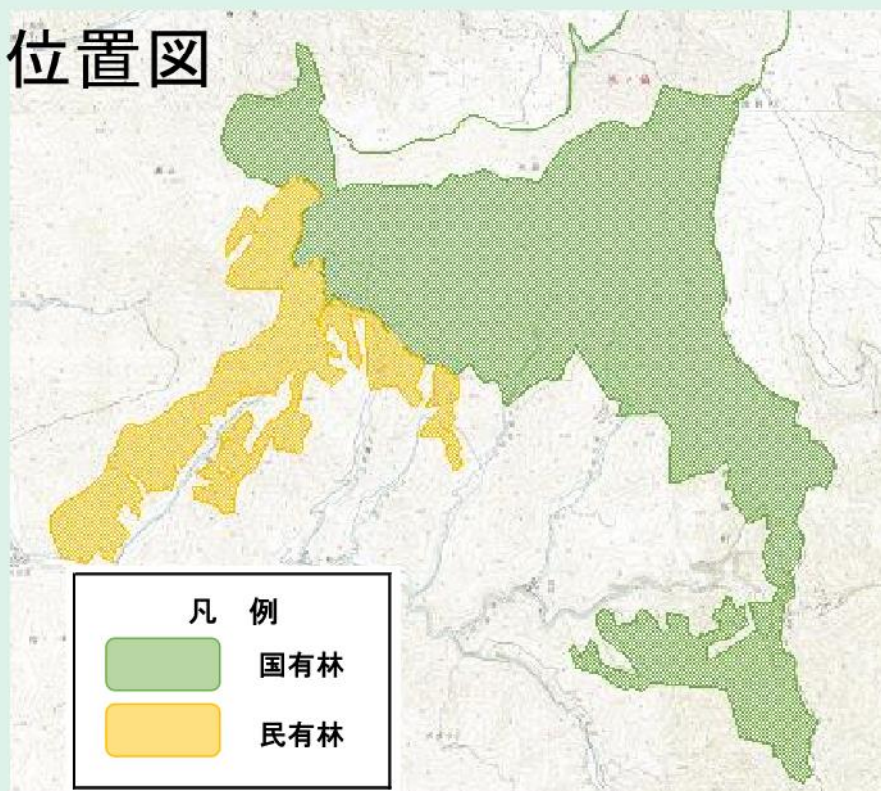
- ・ 苗木を育成する容器の内面にリブ（縦筋状の突起）を設け、底面を開けることによって、根巻きしにくい苗木を生産
- ・ 根鉢がコンパクトで小さな植穴で、季節を選ばない効率的な植栽が可能



民有林と国有林の連携 ～ 森林共同施業団地の設定 ～

隣接した民有林と国有林が連携して路網の作設や間伐等の森林整備、間伐材の販売等を実施する「森林共同施業団地」を設定しています。

位置図



森林施業団地内での現地検討会の様子
(小舟山国有林：若桜町)

団地名	面積 (ha)		備考	連携した施業内容
小舟山地域森林 共同施業団地	民有林	382	若桜町	効率的な路網の配置と高性能林業機械との組み合わせによる計画的な間伐の実施
	国有林	1,097	氷ノ仙国有林（若桜町） 小舟山国有林（若桜町）	
	計	1,479		

地域産業の振興及び 住民福祉の向上への寄与

国有林野の活用

～ 保健・文化・教育的利用のための取組 ～

〇レクリエーションの森
3箇所359.80haを設定し、
国民の保健・文化・教育に活用。



扇ノ仙国有林(八頭町)



種 類	名 称	概 要	面積(ha)
自然休養林	鳥取自然休養林	鳥取市街地からの遠景林として、また、モミ、ツガ等と常緑広葉樹の森林美に優れ森林浴、ハイキング等の場として利用	317.41
森林 スポーツ林	扇ノ仙 森林スポーツ林	ブナを主体とした天然林があり、キャンプ、ハイキング等の野外活動の場として利用	40.10
その他	氷ノ山スキー場	スキー場（林地外）	2.29

国民参加による森林づくり

○地域住民等による森林整備

森林ボランティア活動や森林環境教育のフィールドとして国有林を提供。



山王谷国有林(鳥取市)



設定の目的	名 称	面積(ha)	備 考
ふれあいの森	那岐山ドウダンツツジの森再生	0.02	那岐山国有林(智頭町)
遊々の森	木美の森	6.18	山王谷国有林(鳥取市)
多様な活動の森	氷ノ山キャラ木保護活動の森	3.00	氷ノ山国有林(若桜町)
	扇ノ山・氷ノ山希少植物保護活動の森	119.71	氷ノ山国有林(若桜町) 沢川国有林(若桜町) 扇ノ山国有林(鳥取市)
	自然体験・八東ふるりの森	10.56	扇ノ山国有林(八頭町)